



チームカ合

～学校教育目標～

「気づき 考え 進んで行動する子どもの育成」



カ合小学校だより NO.6

令和4年6月21日

児童数：529名

文責：校長 馬場康弘

水泳シーズン到来！

6月6日（月）の週から、各学年ともにプール開きを行い、本格的に水泳の学習が始まっています。コロナ対応をしながら指導する難しさはありますが、水泳は「命の学習」とするとともに、この時期にしかできない運動領域です。やり直しがで



きない学習とも言えます。子どもたちが1回でも多く学習に参加できますよう、水泳カードへのご記入と健康管理を合わせてお願いします。

少しずつ日常が・・・！



上の写真は、2年生の子どもたちが、校区探検に出かけていく様子です。計画通り、2回行うことができました。また、6月に入り、クラブ活動や総合運動部・総合音楽部の活動（いずれも4年以上の児童）も始まりました。

まだまだ、熊本県内の新型コロナ感染者は横ばい状態ですが、少しずつ日常を取り戻しているようです。



4年生も計画されていた見学旅行に無事行くことができました。「百聞は一見にしかず」。熊本市広域防災センターや八景水谷公園等で見聞を広げ、学習を深めることができました。

尚学会クラス対抗ミニバレー大会！



18日（土）に、10チームが参加して行われました。参加された皆さん全てが童心に帰って、互いの親睦を深められながら、日頃のストレスを発散されていました。珍プレー・好プレーが続出し、大変盛り上がった大会になりました。最後は、**6年2組Aチームが優勝**されました。おめでとうございます！ また、このような素敵なイベントを企画していただきました尚学会保体部の皆様、本当にありがとうございました。

力合小学校児童会スローガン決定！

～「心と絆」「ありがとう」

みんなで作ろう 笑顔の輪～

今年度もすばらしいスローガンを児童会で作ってくれました。4年生以上の学級で話し合ったスローガンやキーワードを持ち寄り、企画委員会の児童による話し合いで決定されました。人と人とのつながりを大切にする学校にしたいという子どもたちの気持ちがよく表れています。

6月全校朝会 校長講話

6月7日

テーマ：「いじめ根絶月間」

みなさん、おはようございます。毎日を楽しく過ごしていますか？

さて、6月は「いじめ根絶月間」となっていて、熊本市内の全ての学校で取り組みが行われます。この「根絶」という意味を調べたら、「根本からなくすこと」と書いてありました。つまり、「いじめ根絶月間」とは、いじめを根本からなくしてしまうことを目的としているのです。それには、力合小学校のみなさんの協力が必要です。校長先生がこれから話すことを真剣に聞き、考え、行動してみてください。そして、それぞれの学級で「いじめをしない、させない」ために、必ず話し合ってみてください。

それでは、今からあなた自身をいくつか見つめ直してもらいます。いいでしょうか。

一つ目は、今、つらいことやくるしいことはありますか？ 悩みはありませんか？ つらいことや苦しいことがあったら、自分一人だけで悩むことはありません。我慢したり、思いつめたりしないでください。家族や周りの大人に相談し、助けを求めてください。相談することや助けを求めることは、人間が生きていく上で当たり前のことです。大人だってそうやって生きています。あなたの思いは、必ず私たち大人が受け止めます。あなたの人生は、これからが楽しく、そして、輝く日々が待っているのです。今、つらいこ

と、悲しいことがあったら、家族、先生、心のサポート相談員の先生など身のまわりの大人に相談してください。

二つ目は、あなたは自分のしていることを軽く考えてはいませんか？ あなた自身は意識していなくても、相手の受け止め方は様々です。あなたの何気ない言葉や行動で傷ついている人がいるかもしれません。もし、あなたが、ちょっとしたからかいや冗談のつもりで、仲間につらい思いをさせているなら、今、すぐに止めてください。あなたの言葉や行動で、相手に与えるたくさんの苦しみを、よく考えてみてください。

三つ目は、あなたは、いじめを自分には関係ないことだと思っていないですか？

何も行動しないことは、仲間がいじめられることを認めていることと同じです。あなたが助けてくれることを待っている学級の人がいるかもしれません。もし、あなたの学級の人がいじめられていたら、周りの大人にそっと相談してください。大人は、必ず味方になって、解決の方法と一緒に考えます。もちろん相談したあなたや、いじめられているあなたの仲間を全力で守り抜きます。あなたの勇気と行動によって、一人の仲間を助けることができます。見ているだけの人間にはならず、勇気を振り絞って行動してください。

四つ目は、あなたは、いじめられる人にも問題があると思っていないですか？

そのように考えることは、一人一人の違いや相手的人格を認めないことと同じです。いじめていることや、いじめをただ見ていることの言い訳にしているのかもしれません。

最後に、いじめられている人の気持ちを考えてください。いじめられている人の中には、なぜいじめられているかが分からずに苦しんでいる人がいます。また、自分ではどうすることもできないことでいじめられている人もいます。いじめについて真剣に考えてください。何をすべきか友達同士、本気で話し合ってください。そして、いじめを根本からなくすための一歩をみんなで踏み出しましょう。

